

We

コミュニケーション!

Love

ニュース

中央本部「拡大本部会議」開催！

1月27日(木)に中央本部委員と事務局委員合同の「拡大本部会議」を東京で開催しました。6団体の代表者・事務局長たち14名が集まり、「パンフ・署名運動」の現況報告、国の「障がい者制度改革推進会議」「総合福祉部会」の報告を確認の後、「情報・コミュニケーション法(仮称)」策定と今後の運動の進め方について協議しました。

「パンフ・署名運動」は1月25日現在、パンフ36,970冊分の入金、署名153,127筆集まりました。目標の約12%達成です。本部から講師を派遣した地域本部の学習会(決起集会)は40都道府県に。その多くが10月・11月に開催されており、短期間の運動で目標の約12%を達成していることは、地域本部皆さまの頑張りをよく表しています。

地域本部と中央本部全体で、3月までには目標の70%達成をめざそうと確認しました。目標の100%達成は8月をめざしています。そのために①中間点検をして全体での運動を盛り上げていくこと、②障害者基本法改正案の国会成立を期して、5月に、国会議員要請行動及び中央集会(集会規模500人)を行う事を決めました。

障害者基本法の改正案は3月中旬に国会に上程される予定です。この改正案に「情報アクセスと言語・コミュニケーション保障」が確実に記載され、今国会で審議・成立されるよう、パンフ・署名に寄せられた私たちの「大きな声」を政府・国会議員にアピールする必要があります。詳細等決まりましたら文書・ニュース等でお知らせいたします。

各団体の動きをお知らせします。

連 盟:加盟団体は地域本部の核となつてパンフ・署名運動に頑張っている。

盲ろう協会:地域の盲ろう者友の会の交流会行事で、パンフ販売署名活動をしている。

全難聴:各都道府県支部に対し、地域本部に結集するよう連絡した。

全要研:会員にパンフと署名用紙を送付。地域では集会・行事でパンフ署名活動をしている。

士協会:支部のある地域は地方本部に積極的に関わるようにしている。

全通研:各都道府県支部にメールで運動の情報提供をしている。

新法に「情報アクセスとコミュニケーション保障」の仕組みを！

「情報・コミュニケーション法（仮称）」については、当面、障害者基本法改正案、障害者自立支援法に代わる新法案において、情報アクセスとコミュニケーション保障の制度設計を盛り込む具体的な提言をまとめていくことに集中することになりました。

私たちの運動により、「障がい者制度改革推進会議」と「総合福祉部会」には情報・コミュニケーションに関するきちんとした法整備が必要との認識が確実に広がっています。

「パンフ・署名運動」目標を達成し、私たちの求める法整備の実現のため、厳しい寒さが続きますが、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

社会からの反響（2）

夫婦は聴覚障害者です。親戚は手話を使わないので理解できない。職場では朝礼の時、初めはボードに書いてくれたが、段々面倒くさくなって書いてくれなくなった。まだ理解してもらえない。聞こえる世界はきびしい。TV番組すべて（各チャンネル）字幕をつけてほしい。この冊子を読んでこれらのことを強く感じ、みんなと一緒に努力したい。（一部修正）（石川）

「I Love Communication」を掲げられていた時から、今回の「We Love Communication」への転換は大きな決断だったと思う。全ての障がい者の方々にも、健常者と同じ権利と義務を有している。それらの履行の為に社会全体で聴覚障がい者とその他、障がい者を支えていく必要がある。同じ国民なのである。その為にも障がい者の立場に基づく法律の再構築と応能負担による保険は必要である。この冊子を読んでこれらの事を強く感じ、一助となれる様、努力したい。（神奈川）

はじめまして。難聴になって3年になります。中失者向け、あるいは、障害者手帳4級での支援は、ほとんど整備されておらず、ある日突然聞こえなくなって、とても困っています。耳鼻科では治療を受けましたが、手帳の申請をお願いしたところ、本当に聞こえないのかと、うたがわれ、すごくいやな思いをしました。仕事は10年以上、営業をし、収入もようやく安定してきていましたが、人に会う仕事なのに聞こえなくなり、本来権利があるはずの収入も1/3以下に減らされ相談するところありません。（愛知）

先日、初めて盲ろう者通訳介助講座を受けまして”目からウロコ”状態でした。盲ろう者の人々はほんとに不便で不自由な生活を強いられている事を実感致しましたので今後は盲ろう者の人々が主体的に社会参加する為の支援者でなければならぬと思いますので、皆で声を大にして、住み良い社会になる様、頑張りましょう。（沖縄）

このパンフレットを読んで一番印象的だったのは、「障害」は耳が聞こえにくい、目が見えないなどから生じるのではないということです。「障害」は私たちの理解不足や社会環境から生じるのだと改めて理解することができました。今、手話通訳士を目指している者として、さらに、ろう者や盲ろう者に対しての理解を深めていく必要があると改めて感じました。（神奈川）